

第14回

第43回 宮崎県高等学校総合文化祭 演劇部門

宮崎県高等学校演劇県大会

9月の県予選会を勝ち抜いた6校の高校演劇部が、
九州大会への切符をかけて三股に集結！



出場高校！（上演順）

- ① 宮崎東高等学校通信制
- ② 宮崎北高等学校
- ③ 宮崎南高等学校
- ④ 宮崎大宮高等学校
- ⑤ 都城西高等学校
- ⑥ 妻高等学校

県内の高校演劇部の頂点を決める大会
「宮崎県高等学校演劇県大会」

「三股を目指そう！」を合言葉に、

9月の県予選会を勝ち抜いた6校が三股に集結し、

九州大会への切符をかけて全力で演じます！

高校生が、演劇という翼を広げ、九州大会へと、
全国大会を目指し羽ばたいていく瞬間を
・お楽しみください！

三股町立文化会館
自主文化事業



会場
三股町立文化会館

- 客席限定となつております、事前に申し込みください。
- ○ マスク着用・消毒など、感染症対策にご協力ください。
- ○ 当日、空いていれば入場いただけますが、お名前とご連絡先をお聞きいたします。

入場無料

2021年

11/20(土) 開場13:00…2校上演

11/21(日) 開場9:30…4校上演

お問い合わせ／三股町立文化会館 TEL:0986-51-3462 <https://bunka.town.mimata.lg.jp>

主催／三股町・三股町教育委員会・宮崎県高等学校文化連盟演劇専門部

大会スケジュール (予定)

①宮崎東高校・通信制



「また、明日」

近年ヤングケアラーの問題がよく話題になるが、若くして様々な家庭の事情を抱え込んでいる青年が多い。そんな3人の若者の友情や恋愛を詩的に描いた顧問創作による作品。絵のようないくつかの印象的な場面が美しく、3人の役者の存在感が際立っている。

②宮崎北高校



「キャンプファイヤー」

巷ではコロナの影響でキャンプブームらしいが、それぞれに悩みを抱える家族が、キャンプに出掛ける話。それぞれの自我は崩壊寸前なのに、それが家族としての役回りを演じて、表面的には軽妙で楽しいキャンプの一晩。そして、思いがけない事件が起こる。

③宮崎南高校



「今も、ずっと」

ALS という難病によって刻々と体の自由を奪っていく青年と新米介護士の葛藤と成長を描いた物語。いわゆる難病のだが、この学校が真剣にテーマと向き合っていることは、たとえば患者を車いすからベッドに移す作業手順ひとつでの演技からも見て取れる。

④宮崎大宮高校



「お栄」

明治時代、日之影町には鉱山があって、町は栄えていた。そして今も残る無縁墓地。そこでの女郎屋に売られていったお栄という少女の成長物語。宮崎県の高校演劇では珍しい史実に材を取ったアリズム演劇。顧問創作による難しいテーマに挑んだ野心作。

⑤都城西高校



「それまでは」

突然の休校、オンライン授業、社会からの孤立など、コロナ禍が世界にもたらしたものは、高校演劇のテーマとしても切実である。少女の心象風景として描かれるコロナ後の世界。ひとりで引き籠る部屋で何が起こり、いかにして少女は自立への旅立ちを遂げるのか。

⑥妻高校



「NAKAZAKI Beach House」

学校をサボって少女が行きついたのは、海水浴場の海の家。その海の家で少女が出会うのは、今の自分に関わる時空を超えた人々。海の家のおじさん始め、人物のキャラが面白い。県大会出場校の中で、唯一の生徒創作作品となった松浦聖君の本もよくできている。

11月20日(土)

13:00～
開会式

13:40～
宮崎東高校・通信制

15:00～
宮崎北高校

11月21日(日)

9:30～
開場

10:00～
宮崎南高校

11:10～
宮崎大宮高校

13:10～
都城西高校

14:30～
妻高校

15:40～
審査

16:00～
講評

17:00～
閉会式

文責／高文祭審査員 段正一郎

